

水から環境と
生活を考える。

I think about life from water.
I do it by oneself.



がんばろう南予!

平成30年7月 豪雨災害

～災害時トイレの現状から これからについて考える～



〈東大洲 / 大洲市提供〉



〈西大洲 / 大洲市提供〉

今回の水害は今までに想像し得ない大きな被害をもたらしました。

しかし、【被害にあわなかった地区があること】【電気が止まらなかったこと】が不幸中の幸いで、避難所等でトイレに不自由された方が想定より少なかったと聞いております。

もしこれが大規模な地震だったら…。

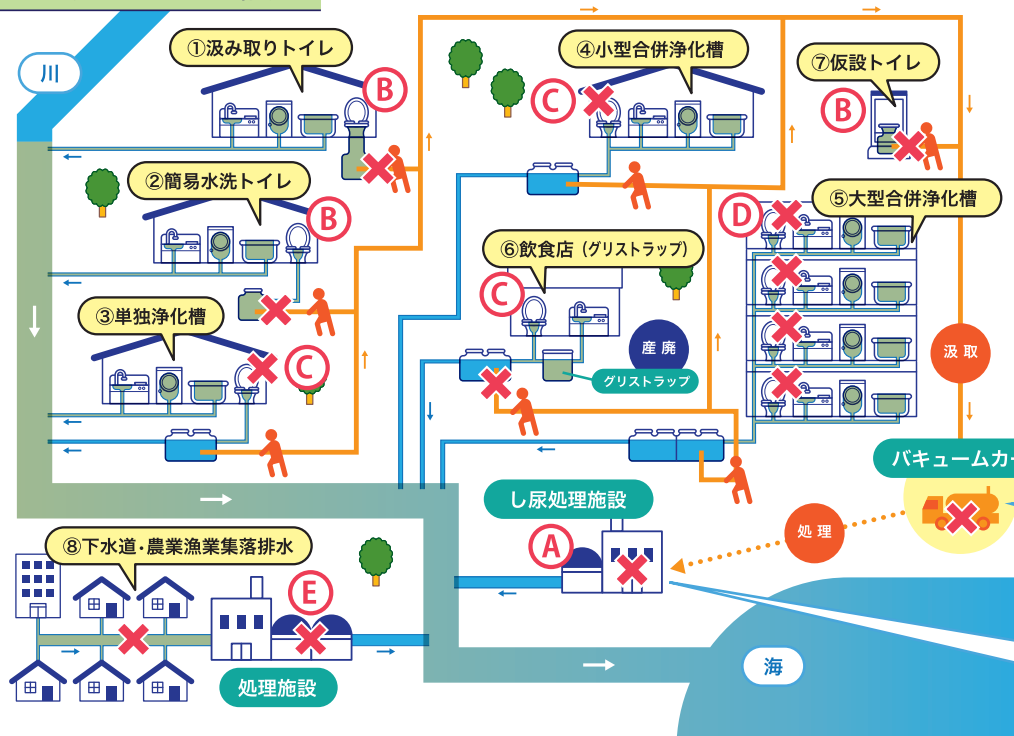
【全域被災】で【電気も止まる】という現実が見えてきました。道路の寸断と広域被災により、今回のように周辺の地域の皆様に助けをいただく事も難しいでしょう。平時から備えましょうというのは本当に難しいことだとは思いますが、わかっているはずのリスクに対して出来る限りの対応はしておきたいものです。

弊社としても今回の教訓を次に活かせるようにしたいと思います。



あなたのお住まいがどのタイプかご存知ですか？

うんち、おしっこはどこへ行く？



被災地区内外の大規模な断水で、トイレが流せない状況が長く続きました。

水害を免れた避難所は、電気が生きていたので、浄化槽は動いていました。

管内のバキュームカーが2台被災。県内の業者から借りて仕事をしています。

水没。機能停止。松山のバキューム業者さん等、たくさんの方に助けて頂き、仮復旧しております。

今回の水害による被害は【被害範囲が限定的】【浸水あり】【断水あり】【停電なし】という状況でした。

A し尿処理場が浸水により被災

バキュームカーの受け入れが全面停止になりました。遠くの処理場まで運搬しなければならず、汲取りや浄化槽清掃が遅れる結果になりました。処理場は設備の修理をする業者さんや、松山からの応援部隊等の協力により仮復旧の状態です。

B 汲取りトイレ等の便槽が浸水で満タン

すぐにバキュームカーで汲取りをしてもらわないと使用できない状況ですが、し尿処理場被災の影響が大きく、すぐに対応することが困難でした。

C 家庭用浄化槽の浸水
ブロウ故障

多くの浄化槽が浸水しましたが、バケツ等で水を流して使用することが出来る場合が大半でした。マンホールが浮いて土砂が流入した例もありました。

D 大型合併浄化槽の制御盤が浸水

たくさんの機械を複雑に動かすための制御盤が浸水し、まるごと交換せざるを得ないところが多くあり、病院や店舗等、人が多く集まる施設であることが多いにも関わらず、復旧に時間がかかってしまいました。制御盤の浸水という被害は盲点でした。

E 八多喜の農業集落排水処理施設の被災

制御盤が浸水しポンプが動かせなくなった影響で水を吐くことが難しく、汚水が逆流して溢れるといった被害が確認されています。同様に、下水管の途中にあるマンホールポンプも停止。バキュームカーによるピストン輸送等での対応が必要でした。

- Special Thanks -

取引先の皆様・衛生社関係の皆様・メーカー関係の皆様・同業他社の皆様・国縣市町村職員の皆様・ボランティアの皆様・お水等の支援物資を送って頂いたたくさんの皆様・ご心配、応援のお言葉を頂いたたくさんの皆様・今も復興にご尽力をされているたくさんの皆様



株式会社 大喜水質管理センター
〒795-0072 大洲市新谷甲 979 番地 1
http://daikisuisitu.com/

お気軽にお問合わせください。
TEL.0893-25-2012
FAX.0893-25-2002

